

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成26年度 講義要目(シラバス)

科目名	メディア情報学先端演習
英文名	Advanced Study of Media Informatics
学部学科	先端科学技術研究科 情報学専攻
配当学年	1・2・3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	磯野 春雄

目的概要	人間情報工学およびメディア情報学分野において高度な専門知識と広い視野を持ち、自立して研究が実践できる研究者を養成する。自ら研究課題を見出し、解決策を立案、遂行し、問題解決へと導く研究遂行能力の育成。学会での研究発表、国際会議におけるプレゼンテーション力の向上、学術論文の作成と学術誌への投稿。
教科書名	特に指定しない。人間情報工学、メディア情報学分野の学術論文、書籍等を適宜使用する。
参考書名	特に指定しない。研究の進捗状況に応じて決定する。
評価方法	①オリジナリティのある研究論文の内容(新規性、有効性、達成度) ②学術論文誌への投稿実績及び国際会議での発表実績 ③プレゼンテーションによる研究成果発表 によって総合的に評価する。
テーマ・内容	(1)人間情報工学およびメディア情報学特別研究: 人間情報工学およびメディア情報学分野の博士論文研究課題に関する研究計画立案、実験準備、実験データ収集、問題解決のための分析力の醸成、関連論文の検索。学会発表論文の作成、学会発表等の計画的実施。 (2)人間情報工学およびメディア情報学特別演習: 人間情報工学および情報メディアに関わる主観評価および客観評価手法。効果的なプレゼンテーション技法。学会誌関連論文(メディア情報学、情報システム、知的ヒューマンインタフェース、人間工学等)の内容検討。学会発表論文報告等。
E-Mail address	isonoharuo@mail.dendai.ac.jp
履修上の注意事項・学習上の助言	博士論文の研究解題に関連する内外の論文、資料等を事前に準備しておくこと。指導教員と相談の上、研究計画を作成し、研究成果は国内学会および国際学会で発表するほか学術雑誌にも論文を投稿して公表する。